

令和2年度  
農業機械研修計画



Shizuoka Prefectural Agriculture and Forestry College

静岡県立農林大学校

掛川機械研修場

〒436-0222 掛川市下垂木2770-1

TEL 0537-22-1440 FAX 0537-22-8691

# 目 次

	ページ
1 趣旨 .....	1
2 研修実施場所 .....	1
3 研修計画 .....	2
4 受講手続き	
(1) 研修申し込み .....	3
(2) 受講者留意事項 .....	3
(3) 運転免許試験受験手続き .....	4
(4) 運転免許試験受験の条件 .....	4
(5) 問合わせ、申込み先 .....	4
5 研修の内容	
(1) 指導農業機械士研修 .....	5
(2) 農業機械士研修 .....	5
(3) 農業機械基本研修 .....	6
(4) 農作業安全研修 .....	7
(5) 農業機械応用研修 .....	7
(6) 農業機械整備研修 .....	8
(7) 小型車両系建設機械特別教育研修 .....	8
(8) フォークリフト運転技能講習 .....	8
6 令和2年度農業機械研修年間計画一覧表 .....	9
7 研修申請書様式	
様式第1号（指導農業機械士・農業機械士研修申請書） .....	10
様式第2号（農作業安全研修申請書） .....	11
様式第3号（農業機械応用研修申請書） .....	12
様式第4号（後継者養成機関等団体用研修申請書） .....	13

# 農業機械研修計画

## 1 趣旨

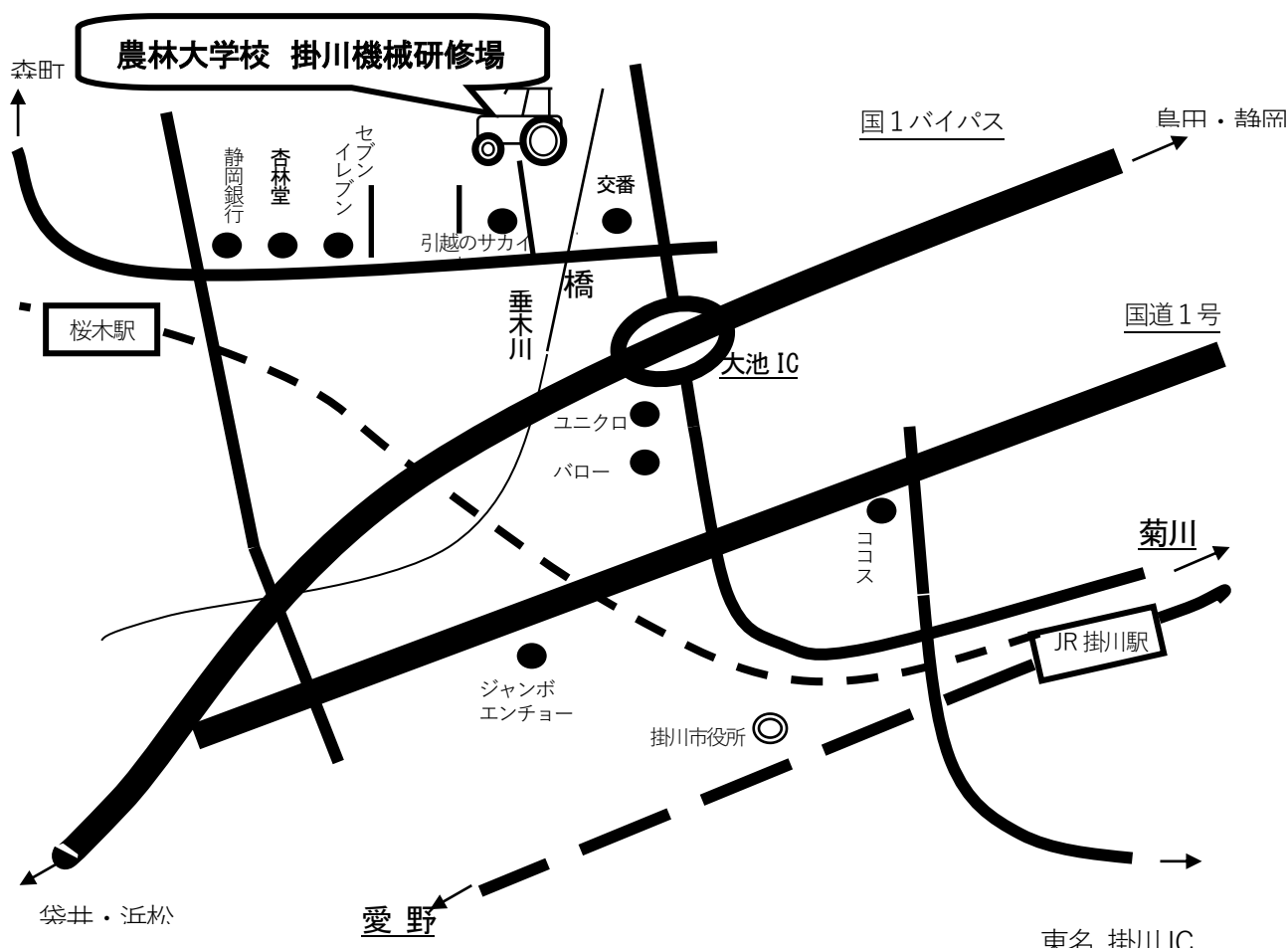
農業機械の効率的かつ安全な利用に関し、高度な知識・技能を備えた担い手を養成するため、静岡県農業機械利用技能者養成研修規程に基づき、農業機械研修を実施する。

この計画は、研修を行う上で必要な事項を定めるものとする。

## 2 研修実施場所

静岡県立農林大学校 掛川機械研修場

所在地： 掛川市下垂木2770-1 (TEL 0537-22-1440 FAX 0537-22-8691)



### 農林大学校掛川機械研修場へのご案内

**自動車**

東名・掛川インターより約15分

国1バイパス・大池インターより約3分

**交通機関**

JR・掛川駅からタクシーで約10分

天竜浜名湖鉄道・桜木駅から徒歩で約15分

### 3 研修計画

【対象】：農林大学校等教育機関の学生等

研修区分	研修対象者	研修規模		研修日程	備考	
		人数	日数	月 日	免許 試験日	検定 試験日
農業機械士研修	農林大養成部、研究部の学生等	3	6	8/14~21	—	8/21
農業機械基本研修	農林大畜産学科 農林大園芸学科 (A組)	24	7	4/9~17	4/17	—
	農林大園芸学科 (B組)	24	7	6/18~26	6/26	—
	農林大果樹学科 農林大茶業学科	20	7	9/3~11	9/11	—
	農林大園芸学科 (C組)	15	7	10/8~16	10/16	—
農業機械応用研修	農林大研究部	1	5	5/11~15	—	—
	*農林大中小分校 けん引 *農林大家畜分校 けん引	3 10	2 4	9/29~30、10/16 10/1~6、16	10/16	—
小型車両系建設機械 特別教育 (未定)	農林大養成部、研究部	30	2	7月下旬	—	
フォークリフト 運転技能講習 (未定)	農林大養成部、研究部	30	4	学科講習 (各地) 11~1月 (1日) 実技講習 (浜松) 2月上旬 (3日)	—	

\* 実施方法等詳細は未定

【対象】：農業者等

研修区分	研修規模		研修日程	備考	
	定員	日数	月 日	免許 試験日	検定 試験日
※指導農業機械士研修	2	4	3/2~5	—	3/5
※農業機械士研修	3	6	2/12~19	—	2/19
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 農作業安全研修	15	3	6/1~2、5	6/5	—
	15	3	6/3~5	6/5	
	15	3	11/9~10、13	11/13	
	15	3	11/11~13	11/13	
	15	3	12/7~8、11	12/11	
	15	3	12/9~11	12/11	
	13	3	1/18~19、22	1/22	
	13	3	1/20~22	1/22	
農業機械応用研修	他の研修での受 験者数により、受 講できる人数が 限られます	3日 程度	研修日は調整後 決定 (連絡) します	試験日は調整後 決定 (連絡) します	—

※ 研修実施人数が定員に満たない場合は、開催できない可能性があります。

## 4 受講手続き

### (1) 研修申し込み

#### ① 申込み方法

- ◆申請書の受付開始は、4月1日とする。
- ◆農業者を対象とする農作業安全研修については、回次別の受講者調整のため4月17日を申請書の提出期限とし、各回次の定員を超えた場合は抽選を行い、受講の可否を通知する。提出期限後でも、定員に満たない回次は受け付ける場合があるため、掛川機械研修場に問い合わせる。
- ◆指導農業機械士研修と農業機械士研修は、研修開始日の40日前を申請書の提出期限とする。
- ◆申請書の提出方法は、持参または郵送とする。(FAXでは受け付けしない)
- ◆電話は問い合わせのみとし、受付は機械研修場が申請書を受理した時点とする。

研修名	申請書様式	申請書提出先	提出期限
指導農業機械士研修 農業機械士研修	様式第1号	農林大学校 掛川機械研修場 〒436-0222 掛川市下垂木 2770-1	研修開始日の40日前
農作業安全研修	様式第2号		令和2年4月17日
農業機械応用研修	様式第3号		研修開始日の40日前
農林大学校等の後継者 養成機関の学生等が団 体で受講する場合	様式第4号		研修開始日の40日前

#### ② 研修経費

テキスト代、免許試験受験料、免許交付手数料は実費とする。

#### ③ 研修の案内について

研修の詳細については、研修日の約1ヶ月前に案内を発送する。

### (2) 受講者留意事項

- ① 研修時間は、原則として9:00~16:00とする。
- ② 申請内容の変更や、受講が困難になった場合は速やかに申し出る。
- ③ 大特(農耕)、けん引(農耕)免許試験の合格者は、浜松市の西部運転免許センターで免許の即日交付手続きを行うので、受講者が移動手段を確保する。
- ④ 研修期間中の昼食を希望する者(学生)は、事前に掛川機械研修場へ申し込む。
- ⑤ 研修には、筆記用具、屋外での作業が可能な服装、雨天時の合羽を各自用意する。
- ⑥ 研修受講者は、研修期間中の万一の事故に備えるため、あらかじめ各自で傷害保険などに加入して研修に参加する。

### (3) 運転免許試験受験手続き

#### ① 申請方法

警察署で運転免許申請書を作成する。これに写真、県収入証紙(申請手数料)を添付し掛川機械研修場に持参または送付する。

#### ② 運転免許申請書提出期限

研修開始の一週間前。

#### ③ 運転免許受験手続きに必要なもの

「運転免許申請書」……………免許試験日8日前までに警察署で作成する。

「申請書用写真」……………試験日より6ヶ月以内に撮影したものを1枚  
(縦30mm×横24mm)用意する。

「申請手数料」……………警察窓口等で2,600円分の県収入証紙を購入する。

※運転免許試験に合格した場合は、受験当日に「免許交付手数料」として、2,050円分の県収入証紙を購入する。

### (4) 運転免許試験受験の条件

#### ①大型特殊免許(農耕車限定)

- ・普通免許または自動二輪免許を有すること。
- ・18歳以上であること。
- ・農作業安全研修または農業機械基本研修を修了していること。

#### ②けん引免許(農耕車限定)

- ・大型特殊免許を有すること。
- ・農作業安全研修または農業機械基本研修を修了していること。

### (5) 申込み・問合せ先

【申込み】 農林大学校 掛川機械研修場 TEL 0537(22)1440  
〒436-0222 掛川市下垂木2770-1

【問合せ】 農林大学校 掛川機械研修場 TEL 0537(22)1440  
農林大学校 教務課研修班 TEL 0538(36)1564  
賀茂農林事務所 企画経営課 TEL 0558(24)2076  
東部農林事務所 企画経営課 TEL 055(920)2157  
富士農林事務所 企画経営課 TEL 0545(65)2195  
中部農林事務所 企画経営課 TEL 054(286)9262  
志太榛原農林事務所 企画経営課 TEL 054(644)9214  
中遠農林事務所 企画経営課 TEL 0538(37)2268  
西部農林事務所 企画経営課 TEL 053(458)7208  
西部農林天竜農林局 地域振興課 TEL 053(926)2139

## 5 研修の内容

### (1) 指導農業機械士研修

- 目的 農業機械利用組織等のリーダーとして活動するために必要な知識、技能を習得する。
- 対象者 農業機械士（2級農業機械士）の認定後、乗用トラクター等のオペレーターの実務経験が1年以上の農業者等。
- 開催回数 年1回

日 順	研 修 内 容			
	9:00~12:00	方法	13:00~16:00	方法
1日目	農業機械化の情勢、動向 農業機械の技術指導手法	講義	農業機械安全指導手法 農業機械・資材の管理	講義
2日目	農業機械の導入利用計画 導入利用条件・計画手法	講義 演習	農業機械利用の経済性 機械利用経費の試算	講義 演習
3日目	農作業安全管理 労働安全衛生法	講義	農作業事故と安全対策	講義
4日目	農業機械指導者技能検定試験	検定		

※ 研修実施人数が定員に満たない場合は、開催できない可能性があります。

### (2) 農業機械士研修

- 目的 農業機械利用組織等のオペレーター又は大規模受託農業者等に必要な知識、技能を習得する。
- 対象者 農林大学校生及び農業者、就農予定者等で、農業機械基本研修又は農作業安全研修を修了した者。
- 開催回数 年2回

日 順	研 修 内 容			
	9:00~12:00	方法	13:00~16:00	方法
1日目	農機の構造・機能と基本操作	講義	農機の点検整備と簡易な修理	講義 実技
2日目	農機の作業安全・効率的利用 計測機器の取扱い 農機の取扱いと操作	講義 実技	農作業事故の実態・安全対策 ノギスの取扱い 作業機の着脱・調整・耕耘方法	講義 実技
3日目	作業点検 農機の取扱いと操作	実技	トラクターの点検 作業機の着脱・調整・耕耘方法	実技
4日目	作業機の着脱・調整・耕耘方法	実技	トラクターの点検 作業機の着脱・調整・耕耘方法	実技
5日目	作業機の着脱・調整・耕耘方法	実技	作業機の着脱・調整・耕耘方法	実技
6日目	農業機械士技能検定試験 (学科)、(作業点検)(簡易な 修理)(ノギスの取扱い)	検定	農業機械士技能検定試験 (プラウ耕・ロータリ耕)	検定

※ 研修実施人数が定員に満たない場合は、開催できない可能性があります。

### (3) 農業機械基本研修

●目的 大型乗用トラクターの運転操作、点検保守管理、各種作業機の取扱いの技能、トラクターの構造と機能の知識及び農作業安全について習得する。

●対象者 農林大学校生等

●開催回数 年4回

日 順	研 修 内 容			
	9:00~12:00	方法	13:00~16:00	方法
1日目	農業機械の概要Ⅰ トラクターの構造と機能1	講義	トラクターの点検整備方法 運転操作方法 コース走行方法	実技
2日目	トラクターの構造と機能2	講義	トラクターの点検 コース練習	実技
3日目	仕業点検 作業機の着脱・調整	実技	ロータリー・プラウによる耕耘	実技
4日目	農業機械の概要Ⅱ 燃料と潤滑油 各種工具の使い方	講義	仕業点検 コース練習	実技
5日目	農業機械の概要Ⅲ 各種作業機 耕うん整地作業 農作業安全 農作業事故の実態と傾斜地作業の安全	講義 実技	実技（技能）評価 学科（知識、理解度）評価	試験
6日目	仕業点検 コース練習	実技	トラクターの点検整備 コース走行模擬採点	実技
7日目	大特(農耕)運転免許試験	試験	運転免許即日交付手続き (西部運転免許センター)	



#### (4) 農作業安全研修

- 目的 乗用トラクターの基本的な点検方法と安全運転技術の習得を通して、農業機械の安全対策を推進し、農作業事故の防止を図る。
- 対象者 農業者及び就農予定者等。
- 開催回数 年8回

日 順	研 修 内 容			
	9:00~12:00	方法	13:00~16:00	方法
1日目	トラクターの機能と基本操作 トラクターの仕業点検	講義 実技	トラクターの運転操作	実技
2日目	農作業安全対策 トラクターの運転操作	講義 実技	トラクターの運転操作	実技
3日目	大特(農耕) 運転免許試験	試験	運転免許即日交付手続き 西部運転免許センター	

※ 申請書様式第2号を提出してください。

#### (5) 農業機械応用研修

- 目的 農業機械の運転技術の向上及び安全対策の習得を図る。
- 対象者 農林大学校生、農業者、就農予定者等で、農業機械基本研修または農作業安全研修を修了した者。

研 修 内 容	方法
農業機械の運転及び安全走行技術を習得する。研修は随時実施する。	講義 実技

※ 申請書様式第3号を提出してください。

※ けん引免許取得希望者は農業機械応用研修を受講する必要があります。

## (6) 農業機械整備研修

- 目的 農業機械の分野で普及台数が多い刈払機、動力噴霧機等の整備技能と安全な使用方法を習得する。
- 対象者 農業者及び就農予定者
- 開催回数 年1回

日 順	研 修 内 容	
	13:00~16:00	方法
1 日目	農業機械の仕組みと構造	実技
	農業機械の故障原因と整備	

## (7) 小型車両系建設機械特別教育研修

- 目的 小型車両系建設機械の操作技能と資格取得を行なう。
- 対象者 農林大生
- 開催回数 年1回（未定）

日 順	研 修 内 容	
	8:30~16:30	方法
1 日目	小型車両系建設機械の構造と機能、安全作業と事故防止	講義
2 日目	小型車両系建設機械の基本操作方法	実技

\*実施場所：掛川クレーン学校

## (8) フォークリフト運転技能講習

- 目的 フォークリフトの安全操作方法と資格取得を行なう。
- 対象者 農林大生
- 開催回数 年1回（未定）

日 順	研 修 内 容	
	講義 8:00~16:30	実技 9:00~16:00
1 日目	フォークリフトの構造と機能、安全作業と事故防止	講義
2~4 日目	フォークリフトの基本操作と安全運転	実技

\*実施場所：静岡県トラック協会西部支部 他

令和2年度 農業機械基本研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	1
2	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	2
3	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	3
4	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	4
5	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	5
6	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	6
7	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	7
8	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	8
9	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	9
10	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	10
11	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	11
12	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	12
13	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	13
14	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	14
15	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	15
16	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	16
17	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	17
18	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	18
19	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	19
20	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	20
21	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	21
22	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	月	月	22
23	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	火	火	23
24	金	日	水	金	月	木	土	火	木	日	水	水	24
25	土	月	木	土	火	金	日	水	金	月	木	木	25
26	日	火	金	日	水	土	月	木	土	火	金	金	26
27	月	水	土	月	木	日	火	金	日	水	土	土	27
28	火	木	日	火	金	月	水	土	月	木	日	日	28
29	水	金	月	水	土	火	木	日	火	金	土	月	29
30	木	土	火	木	日	水	金	月	水	土	土	火	30
31	金	日	月	金	月	土	土	土	木	日	水	水	31

# 研修申請書

（指導農業機械士研修・農業機械士研修）

年 月 日

静岡県立農林大学校長 様

氏名 印

（氏名を自署する場合は、押印は不要です。）

農業機械利用技能者等養成研修を受講したいので申請します。

## 記

1 住 所 〒

ふりがな  
2 氏 名

3 生年月日 昭和・平成 年 月 日生

4 電話番号 ( ) ※携帯電話等連絡のとれる番号

5 職 業 農業（従事年数 年）

※職業は必ず記入 してください	農業法人（名称 従事年数 年）
	その他（具体的に ）

6 研修期間 年 月 日 ～ 月 日

7 研修の種類（希望する研修に○印）

・指導農業機械士研修 ・農業機械士研修

8 過去に受講した研修及び取得した資格

受講した研修名	時 期	修了番号	取得した資格
	年 月		

9 所有する運転免許の種類と条件（該当するものに○印）

・大型 ・中型 ・普通 ・大特 ・小特 ・大型二輪 ・普通二輪  
・原付 ・けん引 ・その他( )

免許の条件

# 研修申請書

（農作業安全研修）

年 月 日

静岡県立農林大学校長 様

氏名 印

（氏名を自署する場合は、押印は不要です）

農業機械利用技能者等養成研修を受講したいので申請します。

## 記

1 住 所 〒

ふりがな

2 氏 名

3 生年月日 昭和・平成 年 月 日生

4 電話番号 ( ) ※携帯電話等連絡のとれる番号

5 職 業 農業（従事年数 年）

※職業は必ず記入  
してください

農業法人（名称 従事年数 年）

その他（具体的に ）

6 研修期間 年 月 日 ～ 月 日（第1希望）

研修期間で第2希望以降を記入してください

研修期間	希望順位
6月1日～2日、5日	
6月3日～5日	
11月9日～10日、13日	
11月11日～13日	
12月7日～8日、11日	
12月9日～11日	
1月18日～19日、22日	
1月20日～22日	

7 受験する免許

・大特（農耕車に限る）

8 所有する運転免許の種類と条件（該当するものに○印）

・大型 ・中型 ・普通 ・大特 ・小特 ・大型二輪 ・普通二輪

・原付 ・けん引 ・その他( )

免許の条件

# 研修申請書

（農業機械応用研修）

年 月 日

静岡県立農林大学校長 様

氏名 印

（氏名を自署する場合は、押印は不要です）

農業機械利用技能者等養成研修を受講したいので申請します。

## 記

1 住 所 〒

2 氏 名 ふりがな

3 生年月日 昭和・平成 年 月 日生

4 電話番号 ( ) ※携帯電話等連絡のとれる番号

5 職 業 農業（従事年数 年）

※職業は必ず記入  
してください

農業法人（名称 従事年数 年）

その他（具体的に ）

6 受験する免許

- ・けん引（農耕車に限る）

7 過去に受講した研修及び取得した資格

受講した研修名	時 期	取得した資格
	年 月	

8 所有する運転免許の種類と条件（該当するものに○印）

- ・大型 ・中型 ・普通 ・大特 ・小特 ・大型二輪 ・普通二輪
- ・原付 ・けん引 ・その他( )

免許の条件

# 研修申請書

（後継者養成機関等団体用）

年 月 日

静岡県立農林大学校長 様

所属長

印

農業機械利用技能者等養成研修を受講したいので申請します。

## 記

1 研修期間 年 月 日 ～ 月 日

2 研修の種類（希望する研修に○印）

・ 農業機械士研修    ・ 農業機械基本研修    ・ 農業機械応用研修

3 受講者名簿

ふりがな 氏名	生年月日	性別	住所	受験する免許	所有する運転 免許の種類